

今週のモーニングセミナー報告

令和5年4月26日(水)の講話 <第938回>

テーマ:「地域のインフラを育むお寺の実践」

講師: 香川県高松市倫理法人会 会員 慈照寺 坊守 秋山美智子 様

(松浦清貴 会長) 本日は未会員の遠藤誠二さんも来ていただきました。一言ご挨拶。今日の栞13条「反始慎終」先祖を大切に。父・祖父・母・祖母・・・倫理では家系図を作りなさいと言われてますので、去年市役所へ行ってその旨を言うと、2万円入ると追われました。結局辞めまして、偉そうなことは言えません～今日の講話者は、東かがわ市生まれ、多度津育ちと聞きました。よろしく願います。

(秋山美智子 様) 高松市倫理法人会の会員であり、慈照寺のい坊守<(ぼうもり):住職の妻>東かがわ市馬篠で生まれた。大学は心理学。職歴は多種多様で、三越のショップ販売員、このままやっていたいいのかと思い・・・パソコンを練習。最初は一本指から、ブラインドタッチ・・・エクセルをマスター。そうしてくると、キャリアアップとしてCAD検定、不動産鑑定、20代の隣の人がリストラで声をかけられたので、自分から辞職。ハローワークで出版社の編集員。建築学科の先生の方に言われ、インテリアコーディネーターの検定試験。カラーコーディネイト、勉強したので受かるんですね。資格・転職・そのころ岸下さんと知り合いました。僧侶と結婚。現在NPO活動。人生観・死生観を変えるようなことがありました。妊娠20週の時、死産。500gの子でした。悲しいという気持ちが受け入れられなくて居ました。産婦人科の廊下に出ると妊婦さんや新生児の姿。自分のベッドの横には冷たくなった子供。「公認されない悲嘆」といわれる。誰にも会わない日が続く。50人に一人が死産。流産は7人に一人はいる確率。悲しい気持ちにふたをして仕事に復帰している。そのことを消化出来ずに涙ながらに話す人も。ソフト面・精神的フォローが無い。「愛別離苦:あいべつりく」お釈迦様の言葉。そのころ「グリーフケア」と出会う。京都福知山線の脱線事故で心に傷を負った人へのケア。精神科医やお坊さんたちが受け場所を作る。オンラインで全国宗派を超えて一般参加者のいろんなケースをあり、あったかい気持ちになった。悲しみ・安心・無感動・後悔・怒り・。畏失志向⇄回復志向のゆらぎ、段々緩やかになる。TV番組で、沖縄にいた弟の死が受け入れられなくてそこへ訪ねる姉の話があった。背中を押された気になった。人間は形にとらわれている。こんな紆余曲折がありたどり着けていた。パートナーを亡くされている人、伝える実践。日本全国にお寺の数は約7万7千ある、コンビニは5万7千です。心のケアの場所としてお寺のことも相談先としてほしい。ご自身のすべての経験を通して、分かり易く心のケアについてご講話いただきました。

担当者: 赤山 芳隆

慈照寺 坊守をされている秋山美智子様のご講話でした。大卒後に百貨店販売員、製造業事務、不動産鑑定業務、出版アートディレクター、建築設計などの職についた。結婚を機に僧侶となる。愛別離苦、グリーフケアについて話されました。グリーフケアとは喪失のことで大切なものや人を失うこと。グリーフには悲しみ、安心という意味があり、グリーフワークとは亡くなった人とつながる営みを持つことにより愛別離苦の愛が大きくなっていく話をされました。人生は多くの人、物との別れがあります、私も出会いを大切にしていきたいと思いました。また寺は全国に77000ありコンビニより多いことにはびっくりしました。ありがとうございました。

会長: 松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは5月10日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「ヨガでココロとカラダと人を繋ぐ」と題しましてnatsu-yoga 松浦なつみ様のご講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 25社 26名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp